

令和3年～6年度使用 金沢市立中学校用教科用図書について

令和3年～6年度に、金沢市立中学校で使用する教科用図書について採択を決定する。

1 採択した教科書

別紙（資料1）のとおり

2 採択理由

令和3～6年度に金沢市立中学校で使用する教科用図書の採択に当たっては、次の観点から検討して、最も適切と思われるものを、教育委員会の権限と責任において、慎重に審議を行い、公正かつ適正に採択した。

なお、採択の主な理由については別紙（資料2）に記載した。

(1) 知識及び技能が習得されるようにするための工夫がなされていること。

(2) 思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がなされていること。

(3) 学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫がなされていること。

(4) 金沢市や生徒の実情に即し、問題解決的な学習を充実させるための構成や工夫がなれていること。

種目名	発行者
国語	光村図書出版株式会社
書写	光村図書出版株式会社
社会（地理的分野）	株式会社帝国書院
社会（歴史的分野）	株式会社育鵬社
社会（公民的分野）	株式会社帝国書院
地図	株式会社帝国書院
数学	東京書籍株式会社
理科	株式会社新興出版社啓林館
音楽（一般）	株式会社教育芸術社
音楽（器楽合奏）	株式会社教育芸術社
美術	光村図書出版株式会社
保健体育	東京書籍株式会社
技術・家庭（技術分野）	東京書籍株式会社
技術・家庭（家庭分野）	東京書籍株式会社
英語	東京書籍株式会社

種目	発行者の略称	採 択 の 主 な 理 由
国語	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「学習の見通しをもとう」で付けたい力が明確に示され、「目標」や「学習の窓」及び巻末の一覧表で学習内容が確実に定着するようになっている。 ・「見通しをもつ」で学習活動が明確に示され、目的意識をもって活動できるとともに、「振り返る」で、学習した内容を確認できるようになっている。 ・具体的な学習活動が示され、話し合ったことを共有し、振り返ることで学びの深まりが実感でき、さらに日常生活にまで生かしていけるようになっている。
書写	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」や学習のポイントを「学習の窓」で明示し、別冊の「書写ブック」を活用し毛筆で学習したことが硬筆で繰り返し学習できるようになっている。 ・教科書の紙面には、複数のQRコードが掲載され、毛筆教材の筆使いなどの様々な動画を視聴することで、生徒が自主的に学習できるようになっている。 ・「日常に役立つ書式」や「国語・学校生活」では、手紙の書き方や壁新聞の作り方等の活用例を紹介し、社会生活の中で生かせるようになっている。
社会 (地理的分野)	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的な見方・考え方を働かせて説明するコーナーは、節頭の「節の問い」に対応しており、多面的・多角的な考察ができるようになっている。 ・1単位時間ごとにある「確認しよう」や単元ごとにある「章の学習を確認しよう」では、問いかげが具体的であり、内容が確実に定着できるようになっている。 ・随所にQRコードが掲載されており、学習内容を動画で確認できるなど、自主的に学習に取り組めるような内容や構成になっている。
社会 (歴史的分野)	育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ・「鳥の目」の「歴史絵巻」で興味を引き出し、「虫の目」の「〇〇の世界へようこそ！」で詳しい説明があることで、自発的な学習が促されるようになっている。 ・「歴史のターニングポイント」では、時代を代表する大きな出来事について、くわしく掘り下げて考え、他者と意見を交換して学習を深められるようになっている。 ・巻頭や「歴史ズームイン」「人物クローズアップ」では、神話や歴史を動かした人物を紹介し、伝統や文化を尊重する態度や道徳性を養えるようになっている。
社会 (公民的分野)	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・章の冒頭で提示されるイラストが詳細で学習とともに深く読み取れる内容であり、生徒が興味・関心を持ち、学びの深化を振り返ることができるようになっている。 ・随所に探究型の課題が提示され、章末では見方・考え方を働かせて章全体を振り返るなど、知識・技能を生かして考えられるような構成になっている。 ・「アクティブ公民」コーナーで、自分で、みんなで考える課題が示され、自分事として捉え、深め、納得できるような内容や構成になっている。

種目	発行者の略称	採 択 の 主 な 理 由
地図	帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域の地図や日本のテーマ別資料図に「鳥瞰図」が採用されており、効果的なイラストによって地域全体の特色に関心を持たせられるような内容や構成になっている。 ・「地図活用」のコーナーでは、一般図や資料から読み取った情報を比較・関連付けて考察させ、知識の整理や説明させる活動の充実が図られている。 ・「地図活用」のコーナーの問いかけが明確で、他者への発表を意識した表現になっており、グループやペアでの学習が進めやすくなるようになっている。
数学	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力の育成を図るため、巻末の「深い学びをふり返ろう」では、問題解決の過程を意図した活動や記述式問題の充実が図られている。 ・単元や節の導入では、学習のつながりを意識した題材を取り入れ、新たな学習への意欲を高めるとともに、次時からの学習に主体的に取り組めるようになっている。 ・各単元の利用では、大切な見方や考え方が明確に示され、更に、巻末の「深い学びをふり返ろう」に取り組むことで、理解を一層深められるようになっている。
理科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入でダイナミックな写真を基に興味・関心を高め、単元末の「みんなで探Qクラブ」で主体的に探究の課程を解決できるようになっている。 ・「探Q実験」では1年「疑問・課題・仮説」、2年「計画・考察」、3年「探究の振り返り」と重点を変えながら探究活動ができるようになっている。 ・つまずきやすい計算場面では「例題」で考え方を丁寧に解説しており、「学習のまとめ」では視覚的に理科用語や学習内容が定着できるようになっている。
音楽 (一般)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・学習目標や教材の配列が適切で、「指揮をしてみよう！」では、各学年の段階に応じた系統的・発展的な学習ができるようになっている。 ・学習目標を1つに絞って提示したり、「音楽を形づくっている要素」を学習内容に即して示したりして、学ぶべきポイントが明確になるようになっている。 ・「深めよう！音楽」では、課題意識をもち対話しながら学習することを通して、吹き出しをヒントに意見交換し、思考を深めることができるようになっている。
音楽 (器楽合奏)	教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ・教材ごとに音楽を形づくっている要素の中で何を学習するのか見通しをもたせ、鑑賞や創作との関連を図りながら学習できるようになっている。 ・学習内容と教材との関連度が一覧で表示されており、学習の手引きやヒントを基に身に付けたい技能を段階的に習得しやすいようになっている。 ・「アンサンブルセミナー」を設け、自分の気付きから考えを深め、グループで協働しながら音楽表現できるよう学習内容の充実が図られている。

種目	発行者の略称	採 択 の 主 な 理 由
美術	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を支える資料が充実しており、関連する題材のページとリンクして制作の手順が適宜記載され、生徒が技能を習得・活用しやすいようになっている。 ・作者の制作過程における思考の流れを具体例に挙げて紹介するとともに、生徒の発想・構想の助けになるような資料や記述になっている。 ・各題材の学びの流れを明確にし、生徒が主体的に学習に取り組めるように巻末資料を充実させ、材料と用具に関わる内容を詳しく示すなど充実が図られている。
保健体育	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」から「広げる」まで段階的に学習の流れが配置され、学習のまとめりごとの発問で課題を明確にし「学習のまとめ」で定着を図るようになっている。 ・「活用する」「広げる」では、習得した知識・技能を活用して、身近な生活に結び付けて、より深く考える活動が行えるようになっている。 ・「発問」や「活用する」では、他者に説明したり、グループで話し合ったりする活動が設けられているなど、対話的に学習が進められるようになっている。
技術・家庭 (技術分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容のはじめには技術の見方・考え方と原理・法則について習得できる視点が示されており、身に付ける知識や技能が明確になるようになっている。 ・随所にレポート形式で思考力・判断力・表現力等を育む具体的な学習活動例が示され、まとめでは知識・技能を活用して思考を深める内容になるようになっている。 ・問題の発見・課題の設定から、製作を経て、評価、改善までの流れが会話形式で記述されており、対話的に設計要素が検討できるようになっている。
技術・家庭 (家庭分野)	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・小題材ごとに「目標」「キーワード」「学習のまとめ」が構成されていることや、基礎的な技能が写真や図で分かりやすく示されているなど充実が図られている。 ・ガイダンスで「問題を解決する道筋と見方・考え方」を示し、見通しをもたせることや、「生活の課題と実践」で実践例が多く示されるなど充実が図られている。 ・「資料」では実物大の写真を多く用い、調理の手順や布を用いた製作などの実習が分かりやすく表示され、視覚的に理解が深まるようになっている。
英 語	東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元において、基本文が自然なコミュニケーションの中で紹介されており、場面設定に応じた表現を学ぶことができるようになっている。 ・「学び方コーナー」では学習のポイントが系統的に取り上げられ、「Word Room」では語彙が豊富に準備されており、主体的な学習が進められるようになっている。 ・「Stage Activity」が各学年で3つ設定され、英語を使用する目的・場面・状況を意識して領域を統合した言語活動に取り組むことができるようになっている。